



千葉県看護協会

「令和5年度 看護職定着確保動向調査（求職者）」結果概要

離職理由は「健康上の理由」28.1%、「他分野への興味」15.6%、「人間関係」15.6%

調査の概要

調査目的	離職中の看護職の就業意向や希望する勤務条件等を把握し、今後の看護職の定着確保対策の基礎資料を得る
調査対象	千葉県ナースセンターに登録の未就業看護職
調査時期	令和5年5月12日～令和5年5月31日
調査方法	調査依頼を郵送し、千葉県看護協会ホームページのアンケート機能を活用したWeb調査
回収状況	配布数：170名 回答数：32名 回答率：18.8%

調査結果のポイント

1. 回収状況と回答者の属性

- 今年度は170名に配布し、回答数は32名で、回答率は18.8%であった。前年度は、返信用封筒を同封した調査票を429名に郵送・配布し、回収数は65名で、回収率は15.2%であった。比較し、3.6ポイント増加した。
- 性別は、「女性」100.0%、「男性」0.0%であった。
- 年齢は、「50代」が34.3%と最も多く、次いで「40代」25.0%、「30代」21.9%の順であった。
- 居住地区は、同率で「千葉地区」「船橋地区」21.8%が最も多く、次いで「東葛地区」18.8%の順であった。
- ブランク期間は、「0～3年」の71.9%が最も多く、次いで「11年以上」15.6%、「4～5年」3.1%の順であった。

2. 離職時の職種、雇用形態、勤務形態

- 離職時の職種は、「看護師」が最も多く90.6%、次いで「助産師」6.3%、「准看護師」3.1%の順であった。
- 離職時の雇用形態は、「正規職員」が最も多く68.7%、次いで「非常勤職員」25.0%、「派遣」6.3%の順であった。
- 離職時の勤務形態は「日勤のみ」が最も多く50.0%、次いで「短時間勤務」が21.8%、「二交代制」18.8%の順であった。

3. 看護業務の通算勤務年数、離職直前の施設での勤務年数

- 看護業務の通算勤務年数は、「20年以上」が最も多く34.3%、次いで「10～14年」18.8%、「1～3年」15.6%、「15～19年」12.5%の順であった。

表1 看護業務の通算勤務年数

1年未満	1～3年	4～6年	7～9年	10～14年	15～19年	20年以上
2	5	3	1	6	4	11
6.3%	15.6%	9.4%	3.1%	18.8%	12.5%	34.3%

○離職直前の施設での勤務年数は、「1～3年」が最も多く31.2%、次いで「1年未満」25.0%、「10～14年」15.6%の順であった。

4. 離職理由

○離職理由は、「健康上の理由」が最も多く28.1%、次いで同率で「他分野への興味」「人間関係」15.6%、次いで同率で「出産育児子供のため」「自分の適性能力への不安」「看護内容への不満」12.5%であった。

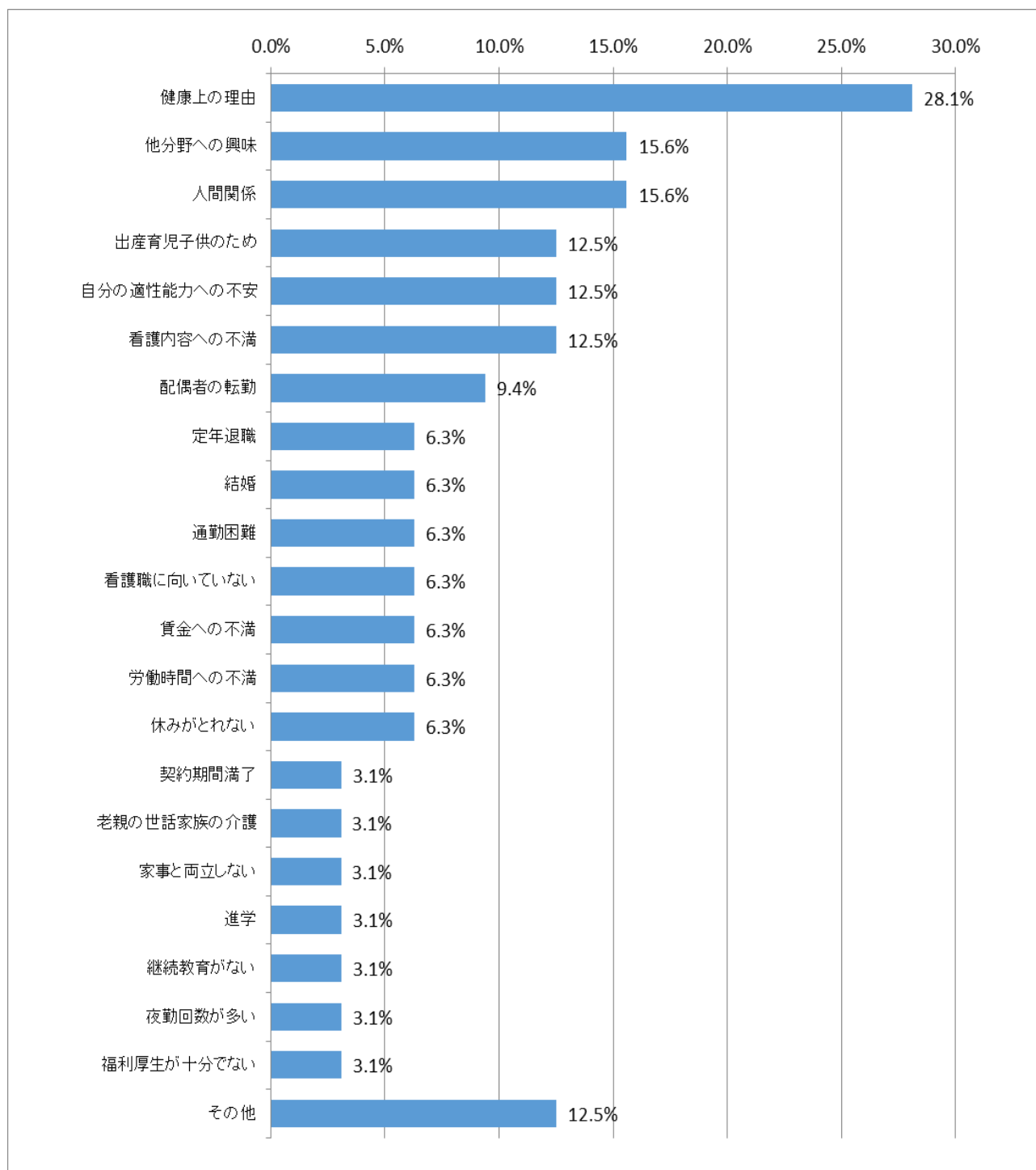


図1 離職理由

5. 人間関係が難しかった相手

○離職理由で「人間関係」を選択した人に人間関係が難しかった相手を尋ねると、「同僚」が最も多く80.0%、次いで「他の専門職」40.0%、同率で「先輩」「師長等中間管理職」「一般職員」20.0%であった。

6. 「看護内容への不満」の具体的理由

○離職理由を「看護内容への不満」と回答した具体的理由は、同率で「患者とのコミュニケーションに時間が取れない」「看護体制が整っていない」50.0%が最も多かった。

7. 「賃金への不満」の具体的金額

○離職理由を「賃金への不満」と回答した2名の退職時金額と希望金額は、退職時時給1,568円だが、1,800円を希望、退職時給与の記載はないが、月給30万円希望であった。

8. 就業条件

○就業条件は、「休みがとりやすい」が最も多く50.0%、次いで同率で「柔軟な勤務形態の導入」、「通勤に便利な職場」31.3%、次いで「超過勤務が少ない」「自分の希望する給与」25.0%の順であった。

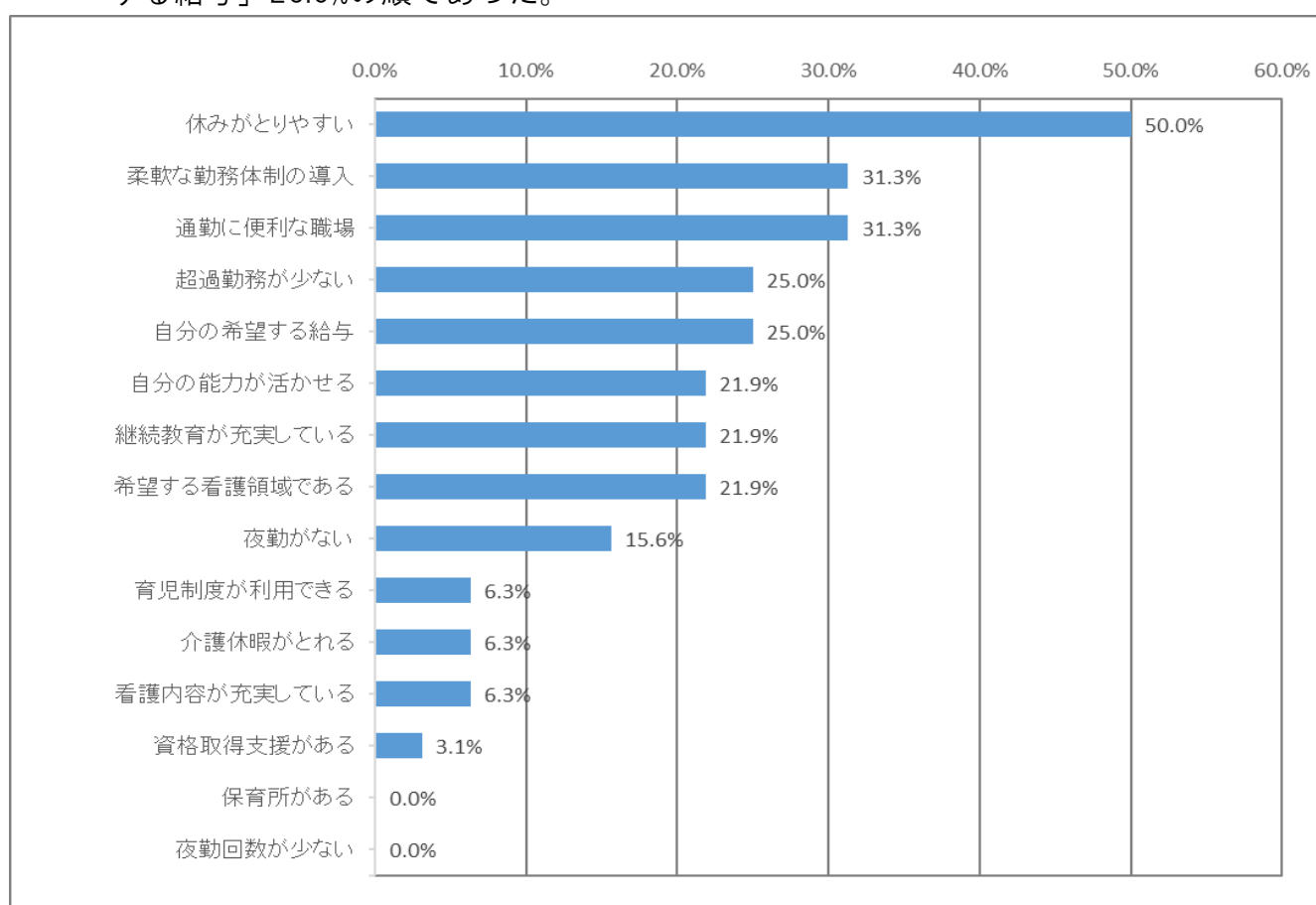


図2 希望の就業条件

9. 求人情報の冊子の利用について

○求人情報の冊子の利用については、同率で「利用している」「利用していない」が50.0%であった。利用していない理由は、「知らなかった」3件、「希望する情報がない」2件であった。